

ランチオンセミナー1

11月15日（土）12:00-13:00 第1会場（2F スノーホール B）

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

地域医療における HCVDuO への期待

座長：寺井崇二（新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野）

演者：城下 智（国保・依田窪病院）

日本は肝炎対策を国家的課題として推進しており、特に C 型肝炎の撲滅には診断から治療への迅速な連携が不可欠である。従来、2 ステップ・1 スピッツ方式の HCV コア抗原測定法が用いられてきたが、さらなる効率化のため、ロシュ社の新規診断薬「エクルーシス試薬 HCV Duo」による 1 スピッツ・1 ステップ測定法が注目されている。

この新技術は、検査から治療への即時連結を可能にし、キャリアの早期発見と迅速な治療介入を促進する点で臨床的意義が大きい。C 型肝炎ウイルスの排除は、肝疾患の進展抑制に加え、肝外病変を含む生命予後の改善にも寄与することが報告されている。

WHO は 2030 年までの撲滅を目標に掲げるが、日本の達成は困難との指摘もある。しかし、こうした新規診断技術は実現の可能性を着実に高めており、早期達成に向けた最大限の取り組みが求められる。本セミナーは、これらの現状と展望を共有し、医療従事者の理解と意識向上を目指すものである。